

1. 年頭にあたって

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、清々しい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

平素は当振興区の様々な諸活動に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、広島県のさとやま未来博シンボルプロジェクト「廃校リノベーション」で改修した二階の一室を、区民の皆様のご協力をいただき「図書館」として活用し、さらに一室を鉄道関係の展示室として公開しました。

また、ホームページやインスタグラムで地域情報を発信して八銚の魅力の公開にも取り組んでいます。

しかしながら、昨年より新型コロナウイルス感染の世界的な蔓延により、3密の回避で当振興区でも各種教室や講演会、視察、イベント（やほこ収穫祭、ヒバゴン50周年記念事業）、広島経済大学との交流等々多くの諸計画を中止せざるを得ない状況となりましたが、今年も引き続きコロナの勢いがおさまりそうになく、各種活動や事業に影響を与えそうです。

そのような情勢ではございますが、新しい年も当振興区の目的「住み良い、住み続けられる地域づくり」を目指して、役職員一同区民の皆様とともに振興区の活動に取り組んで参る所存です。

引き続きご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。



また、併せて諸活動の弊害となっている新型コロナウイルス感染が1日も早く終息するようお願い申し上げます。

皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



八銚自治振興区
会長 片山 悟

2. 新型コロナウイルス感染禍のお正月

例年のお正月は、まず氏神さんに初詣をし1月4日頃には「新年互例会」、そして初旬には「消防出初式」、地域では「とんど祭りや新年会」等の行事が行われてきました。

今年はコロナで互礼会や消防出初式も中止になるなか、三坂自治会では参加者を地域の役員に絞る等の工夫をして「とんど祭り」を実施されました。

今後、このコロナウイルスとの共生は避けておれないわけですが、私たちにはコロナ環境に適應できる生活様式や行動様式を考え、実行していくことが求められてきていると思います。

今年はコロナ時代の生き方や、また地域活動をどのよう進めていけばよいのかについて、考えてみたいと思います。



今後、ワクチン接種も行われてくるわけですが、まず皆様には、引き続き「3密の回避」「マスクの着用」「手洗い咳エチケット」等の基本的な感染防止対策を徹底され、また発熱等の症状がある場合は、早くかかりつけ医や身近な医療機関で受診しましょう。

自治振興センターでは、引き続き「入場時の検温・手指のアルコール消毒」「3密回避のための配席や換気」「加湿器使用」「必要に応じたビニールカーテン使用」等を行いながら、皆様に利用できる体制を整えていますので、ルールを守って、ご利用いただきますようお願いいたします。

庄原市内の感染状況

月	件数
8月	4件
12月	2件
1月	6件
計	12件

3. 事業の実施状況等

(1) 庄原市自治振興区連合会への要望事項の提出（西城町自治振興区連合会）

庄原市自治振興区連合会（庄原市内22自治振興区で構成、以下「連合会」）では、「自らの地域は自らが守る」の理念からくる取組の一環から、市と一体となった地域振興を進めるための要望を連合会でとりまとめて市へ提出することとなりました。

西城町自治振興区連絡協議会（西城・八銚両自治振興区、以下「西城連協」）としては、令和2年12月28日に、次の3件の要望を提出しましたのでお知らせします。

	要望	提案	効果
①	西城小学校（美古登小学校統合後）児童・教師・保護者と、西城連協が交流する事業に事業予算を措置願いたい。	西城小学校と西城連協とで、児童の教育に資する交流事業についての協議を行い、令和3年度からの事業開始を計画する。（西城・八銚両自治振興区で協議中）	世代間交流による世代と、西城連協18自治会の一体感を醸成することにつながる。
②	JR線と生活交通の関連を考慮した生活交通運行。 （生活交通が域内観光地へのアクセスに活用できればベスト）	観光事業者及び関係自治会と協議して運行便数・時間帯を考え、場合によってはJRと協議して、考えられるベストの運行体系を定め生活交通を運行する。	今ある交通資源（JR）を活かした交通システムに転換することにより、JR線存続に取組となる。 また、ローカル線の魅力が叫ばれている今日、山間の秘境を走る芸備線や木次線が一層観光資源化する。 西城全域を訪れていただくことに関し、地域外へ発信しやすくなる。
③	西城市民病院へ救急搬送時等に付き添う人が宿泊できる施設を設けていただきたい。	西城市民病院内もしくは空いた医師住宅等に、医師の承認のもと、有料で付添人等が宿泊できる施設を設けていただきたい。	現状の地域包括ケアシステムの運用上の課題が、一つ減少する。

(2) 令和2年度タマネギ他農産物の供給状況

令和2年度の野菜供給シーズンが終わり、本年度の実績がまとまりました。

本年度は大口供給先の経営破綻に伴い、大幅な供給減少になるのではないかと心配しましたが、主に昨年度から供給先として取引を開始頂いた福祉施設のご協力により、「タマネギ」及び「その他野菜」とも、その供給量は年度計画を上回りました。

その実績は「下表」のとおりですが、地域の「タマネギ」は完売し在庫がなくなりました。また「その他の野菜」についても、10月下旬以降「カボチャ、キャベツ、白菜、大根等」沢山のものを輸出していただき供給することができました。供給農家の皆様へのご協力を御礼を申し上げますとともに、来年度に向け大きな足がかりを与えて下さったことに厚く感謝を申し上げます。

	年度目標	実績	目標達成率	備考
タマネギ	258千円	262千円	102%	・（タマネギ）1,455kgを、14戸の農家から供給いただき、6件の供給先へ供給。 ・（その他野菜）15品目を、13戸の農家から供給いただき、4件の供給先へ供給。
その他野菜	41千円	120千円	293%	
合計	299千円	382千円	128%	

(3) やほこ交流センター・ヒバゴンビレッジ（交流施設）利用・訪問実績（単位:人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生涯学習自主運営他		4	41	18		14	22	13	24				136
展示場等訪問者		5	13	12		11	33	11	1				86
合計		9	54	30		25	55	24	25				222

4. 連絡事項

(1) コピー機、輪転機等の無料利用について

住民満足度の向上を目的に、八銚自治振興区内の「自治会や老人クラブ等」地域団体のコピー・印刷料を、紙代を含めて無料にすることを検討しておりましたが、「輪転機」の導入を機に「無料」にできる見通しとなりました。

よって、2月以降 八銚自治振興区内の以下の団体等については「無料」でコピーや印刷を行っていただけるよう準備しておりますのでお知らせします。

自治会	常会	老人クラブ	小地域サロン	テレビ組合	営農集団等
ボランティア団体	消防・防災・防犯関係団体	子供会・保護者会	福祉関係者	等	

尚、コピー等の原紙を「eメール」で送信下さる方法でも対応可能です。詳細は後日連絡します。

(2) 地域外への広報誌 送付先のご紹介 随時受付

昨年、常会回覧でお願いしました「地域外（八銚にご縁のある方）へ広報誌を送るための送付先をご紹介いただく件」につきましては、随時受付けております。

現在、約100名の方を紹介いただいておりますが、八銚にご縁のある方に「ふるさと”八銚”の心」をお届けしようと思っておりますので、どうか引き続きご紹介くださいますようお願いいたします。

5. 地域マネージャー業務の進行状況をお知らせします。（11月～12月）

(1) 交流事業関係

- ① 「旧国鉄関係のグッズ」展示は、消防法の規制で「研修室（元、保育所）」へ移設することになりました。研修室に設置してあったカラオケ設備を振興センター2階の交流施設へ移設も終わり、展示室にふさわしいレイアウトの検討や諸物品の手配を行っております。
- ② 「ヒバゴンビレッジの目指す姿はこれだ」を表す絵を追加掲出予定で、引き続きその内容を検討しています。
- ③ ホームページは、コンセプトを整理しつつ、都度変更中です。
- ④ 将来の交流事業への展開を目指す、生涯学習3事業（「しいたけ栽培講座」「ガーデニング室」「パークG&ウォーキング教室」）の、来年度に向けた立上げ・活動計画を検討中です。
- ⑤ 担当マネージャーとしましては、取組む仕事の殆どに創造力が求められますが、過去の経験からくる固定観念の邪魔にあいながら、振興センター（交流施設を含む）に地域の人を始め多くの方に訪れていただいて、お楽しみいただけるよう取組んで参りますのでよろしくお願い致します。

(2) 野菜販売関係

- ① タマネギ他野菜販売（供給）は、2ページに記載したとおり年度目標を達成しました。
- ② 今年度は、大口供給先破産による供給減を心配しましたが、主に昨年から取引を開始いただいた福祉施設とのつながりが深まり、タマネギを含む沢山の野菜を買っていただきました。
- ③ また、タマネギやその他の野菜を栽培されている皆様には、供給できる野菜についての情報交換や収穫・出荷準備にと、きめ細かく対応して下さり有難く感謝しております。
- ④ 担当マネージャーとしましては、地域の高齢者の皆さんがお元気で心を込めて作られた野菜を、福祉施設に入所されている大先輩や、ひ孫の世代にあたる保育園児に食べていただき本当に有り難く感謝しております。これからも、野菜を供給くださる皆様の暖かい心を野菜に添えて食べてくださる人にお届けし、微力ですが農業と福祉の連携に取組んで参りますのでよろしくお願い致します。

(3) 自主防災関係

防災については、自主防災組織づくりを目指した研修会（防災講座）を3月6日（土）に講師を招いて開催する予定です。

自主防災組織づくりは、各自治会の実態を踏まえ、必要に応じて自治会が主体となって取組むことと進めることとしております。

研修会は、1月20日付発行の「生涯学習だより」でご案内いたします。

6. 「地域のこの人」紹介

「防災士」取得・・・板倉 孝さん（八銚落合自治会）

近年の局地的な集中豪雨は、毎年いたるところで甚大な災害を引き起し、平時からこれらを想定した危機管理の取組の必要性が叫ばれております。

八銚地域においても毎年梅雨末期の大雨時の自主避難が行われるようになってきており、自治振興区においては地域の実情にあわせた自主防災組織づくりを準備しております。

そうしたなか、昨年11月に現役消防団幹部（庄原市消防団 広島県委嘱指導員（分団長））をつとめられている板倉 孝さん（八銚落合自治会）が「防災士」の資格を取得されました。

板倉さんは、消防団員として防災活動を行う中、例年発生する大雨災害は予想をはるか超えるもの。地域は過疎、高齢化が大きく進んでいるが、地域の安心・安全のために、とりわけ災害時には「自分自身で命を守る行動がとれる地域づくり」が必要があるとの認識のもと、地域内で相互に助け合える体制づくり（自主防災組織づくり）を推進していきたいと、力強く語っていただきました。

八銚自治振興区で若手のリーダー青年部長を担当されている 板倉さん。安心・安全な地域づくりは住民みんなの願いです。地域として「自主防災組織づくり」の必要性を強く感じている中、板倉さんの崇高な抱負をお聞かせいただき、大変頼もしく感じると同時に、お力をお貸しいただけることに対し有難く厚く感謝を申し上げます。



板倉 孝さん

7. その他の活動等の紹介

（1）「JR芸備線 増便列車」で新発見

昨年11月1日から1ヶ月間、芸備線「備後落合駅から新見駅間」に1本の増便列車が運行されました。備後落合駅9時過ぎ発で新見に行けば、お昼に約2時間滞在できるので、八銚からは11月16日に絵手紙教室8名が「絵手紙のネタ探し」、11月27日に有志5名が「芸備線に乗ろうツアー」で楽しめました。

新見方面は、馴染みが薄く「1回は乗ってみたいなあ」と思われる程度だったようですが、いざ乗ってみると「車窓からの景色は車とは違い未知の世界…素晴らしい。普段立寄らない駅、各駅停車の旅は良いもの」であったとのこと。

また11月16日の上り列車は、鉄路へ落葉が降って「代行バス」になるハプニングもあり、これぞ秘境のローカル線…気忙しい日常にあってお酒を嗜みながらの「ゆったり旅行」はリッチなものであったようです。また新見での昼食は「鯖寿司」や「干屋牛」が美味しかったそうです。

（5人以上で芸備線に乗ると、庄原市から運賃の半額補助あり。皆さんもJR線利用いかがですか？）



（2）和室用にテーブル・椅子を設置しました



年齢を重ねると座りにくくなるということで、和室用の座卓を20人分設置しました。ちょっと洒落た雰囲気の中楽しく歓談や交流ができるスペースです。お食事のお持込も可能ですので、生涯学習の後や、お仲間で食事会などいかがですか、どうぞお気軽にご利用ください。



（3）西城市民病院へ写真展示（写真クラブ）

1月5日から1ヶ月間、西城市民病院へ八銚自治振興区の「写真クラブ」の皆さんが、写真の展示をされています。

機会があれば、どうぞご覧ください。